



北見ロータリークラブ週報

●創立/1937年9月19日 ●事務所/北二条ビル 3階 302号 ☎25-2824 ●例会日/毎週水曜日 ●例会場所/ホテル黒部

HPアドレス <https://www.kitamirc.jp>

2025~2026年度国際ロータリーテーマ

第3541回例会・2026年3月4日

本日のプログラム

新人会員卓話「接客業に出会えたこと」

株式会社 コンサルトジャパン

常務取締役 近藤 征伸 会員

UNITE
FOR
GOOD

R.I. 会長 フランチェスコ・アレツツォ

第3540回例会(2月25日)の記録

ロータリーソング 奉仕の理想

ゲスト 米山奨学生 北見工業大学 テリゲル様

会長挨拶 小林会長

皆さん、こんばんは。本日はロータリー創立記念夜間例会です。今から121年前の1905年2月23日、弁護士であったポール・ハリスがアメリカ イリノイ州シカゴで初のロータリー例会を開き、ユニティビル711号室で4人のロータリアンが地元の多種多様な職業人を集めたクラブを思い描きながら開催しました。ポール・ハリスは、一業種一会員を原則として会員相互の理解を深めるのが目的だと提唱しています。例会会場は会員の職場を順番にまわり、会員の職業を知ることから始めています。クラブの名称を決める際に様々な意見が飛び交い「コンスピレーターズ・クラブ」はどうだろうという提案があったようです。日本語で共謀者という意味であることから、良い印象を与えないのでボツになりました。我々は職場ローテーションをしながら会合を開いているので「ロータリークラブ」はどうだろうと提案があり、多くの会員の賛同を得てロータリークラブが誕生しました。後ほど会長講話で詳しくお話させていただきます。会員皆様とロータリーの歩みに触れて、更に奉仕、親睦を進めていただければと思います。本日も例会をお楽しみください。以上で会長挨拶とさせていただきます。



ロータリー創立記念夜間例会 会長講話 小林和真 北見RC会長

本日はロータリー創立記念夜間例会です。ロータリーの歩みを会員皆様にお伝えしたいと思います。世界に約140万人いるロータリーの会員は、世界各地の課題に取り組むグローバルなネットワークを形づくっています。1905年の創設期から振り返ってみましょう。

弁護士だったポールP. ハリスは、2月23日にアメリカ イリノイ州シカゴで初のロータリー例会を開きました。ハリスは、地元の多種多様な職業人を集めたクラブを思い描きました。1910年、シカゴで開催された第1回ロータリー大会に16のロータリークラブの代表者が集まり、全米ロータリークラブ連合会を設立し、定款と細則の採択、理事会の選出が行われました。全てのクラブに同じメッセージを届け、クラブと会員からのニュースを伝えることを目的に、1911年1月に『The Rotarian』創刊号が発行され、その後2020年に『Rotary』に名前が変更されました。創刊号には、ポール・ハリスが書いたエッセイとクラブのニュースが掲載されました。1917年、「世界でよいことをする」ための基金の設置をアーチ・クラフ会長が提案し、これがロータリー財団の前身となりました。最初の寄付は、カンザスシティ・ロータリークラブ(米国)からの26ドル50セントでした。1928年、正式に「ロータリー財団」と命名され、管理委員会が創設されました。1919年、次期リーダーの年次研修行事である国際協議会がシカゴで開催されました。ロータリークラブが世界に広がりつつある中、国際的な協力におけるリーダーとしてのロータリーの存在感が高まっていきました。ロータリーは「四つのテスト」を採択し、世界で最も多く印刷、引用されるビジネスの倫理指針の一つとなりました。「四つのテスト」は、シカゴ・ロータリークラブ会員だったハーバートJ. テイラーが、1932年に大恐慌で倒産寸前だったアルミニウム会社を立て直すために起草したものです。1947年1月27日にハリスが逝去した後、ロータリーから会員に電報が送られ、お供えの花の代わりに財団に寄付することを希望したポール・ハリスの遺志が伝えられました。1957年、寄付者への感謝の気持ちを示すとともに、財団への継続的な寄付を奨励するために、ポール・ハリス・フェローの認証が創設されました。その後の18ヶ月間に会員から寄せられた100万ドル以上の寄付は、ロータリー財団奨学金プログラムのために活用されました。1962年11月5日、青少年のためのプログラムであるインターアクトが設立、認定されました。インターアクトは、高校生がリーダーシップのスキルを身につける機会となります。米国ノースカロライナ大学シャーロット校に初のローターアクトクラブが認定されました。ローターアクトは大学生と若い職業人を対象とするプログラムとして創設されましたが、2019年に再定義され、ロータリーの加盟クラブの一種となりました。1971年、「ロータリー青少年指導者養成プログラム」(通称「RYLA」)が創設されました。RYLAは、ロータリークラブまたは地区が実施するプログラムで、若い人たちが新しい友人をつくり、楽し

みながらリーダーシップのスキルを磨きます。一昨年、北見でRYLAが開催されましたが、古い歴史のあるプログラムです。1975年にはクラブと地区が管理する公式プログラムとして「ロータリー青少年交換」が認定されました。1987年、米国最高裁での判決を受け、米国で女性がロータリーに入会しました。1989年からは全世界のクラブに女性が入会するようになりました。北見ロータリークラブ初の女性会員は岸本りさ会員です。

ロータリー財団管理委員会は、平和および紛争解決の分野における国際問題研究のための平和センターの設立を承認しました。平和学に優れた大学がロータリー平和センターを設け、現在世界には7つの平和センターがあり、今月にはイスタンブールに平和センターが新設されます。世界で平和に貢献したい方を平和センターで迎え入れ、平和学を学んだ卒業生は、平和フェロー、つまり平和構築者になっていくというものです。2002年に学業を開始し、今では1,800人以上の平和フェローが世界で平和に貢献しています。ロータリーは未来を見据えつつ、中核的価値観を土台として世界の地域社会に持続可能な変化を生み出していきます。また、ロータリー財団は、地区補助金とグローバル補助金から成る簡略化された補助金モデルを導入しました。フィリピンの子どもたちに予防接種をする複数年の補助金プロジェクトとして、ポリオ根絶の取り組みが開始されました。ポリオ根絶に向けた動きは、2014年にWHO東南アジア地域がポリオフリー、つまり発症なしと認定され、2020年にWHOアフリカ地域が野生型ポリオウイルス根絶と認定されました。ポリオ根絶に向け、残りはアフガニスタンとパキスタンの2カ国となりました。

現在、ロータリーは全ての人に尊厳と尊重をもって接し、あらゆる人の声に耳が傾けられるようにし、親睦、奉仕、リーダーシップの公平な機会を設けることに力を注ぎ、DEIの推進をしています。ロータリーが多様で、公平で、インクルーシブな組織となることを望み、またそうあるべきであると考えています。1世紀以上前、私達は人と人との繋がりを礎とする奉仕のリーダーシップというモデルの先駆けとなりました。1世紀前と違うのは、この繋がりがグローバルに広がったことです。地域のニーズに応えるために手を差し伸べるだけでなく、国境・世代・言語・文化・歴史的な違いを超えて、より良い世界への希望を生み出していきます。そして、北見ロータリークラブも会員皆様と歩みを止めず進んでいきます。ご清聴ありがとうございました。

プログラム

懇親会

田尾SAAによる乾杯



永田会員による
締め挨拶



「手に手つないで」
♪ 斉唱 ♪
ソングリーダー
佐々木(朋)会員



会員の輪

先日、富田会員から立派なスキー板とストックをいただきました。その勢いで形から入る私はウェアから小物まで全て大人買いで新調。毎週末格好だけは一丁前にスキーに通ってます。冬季オリンピックの映像も相まってまさにプロスキーヤー気分。自宅から20分でゲレンデに立てる贅沢を堪能してます。

(藤澤 慎也)

【次回3月11日】 ゲスト卓話 「▲▲▲▲▲▲▲▲▲▲」

北見市商工観光推進室 ふるさと納税推進担当 係長 関谷 剛 様
北見市企画財政部企画課 係長 尾崎 美織 様

2025～2026年度 北見R.C.活動方針

「クラブに革新を 笑顔で紡ぐ奉仕の輪」
～行動しようRotarianとして～

ロータリーの特別行事

3月は識字率向上月間です。この月に、クラブは独自の識字率向上プロジェクトを立案し、非識字者を世界からなくそうとするロータリアンの活動に対する認識を高めます。